

Evonik Industries 社（ドイツ）



ドイツ Evonik Industries 社（旧ドイツレーム社）は、本来旧ヒュルズグループの傘下であり、メタアクリレート類（モノマーから成形材料まで）の製造販売を一貫して行っていました。その後、デグサとヒュルズグループとの合併が 1999 年 2 月に行われ、デグサヒュルズ AG が設立されました。

その時に旧デグサ側のアゴマー（Agomer）という同じメタアクリレートを製造している会社をレーム側が吸収合併するという形で、新生のレームがスタートしました。このような吸収、合併を繰り返したことで、固形樹脂の製造方法もいくつかに加え、カタログにあるような、微粉末タイプ、グラニュー状タイプ、ペレット状タイプ、スプレードライエマルジョンタイプの製造が可能となりました。この Evonik Industries 社の溶剤系アクリル樹脂の特徴としましては、多形状（溶剤希釈型も含む）、多品種、多用途向けが挙げられます。

- 溶剤系アクリル樹脂（固形タイプ）
- ヒートシール用途